



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社P R T I M E S 上場取引所 東
 コード番号 3922 URL https://prt看mes.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 拓己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 三島 映拓 TEL 03-6455-5331
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績 (2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,769	—	1,103	—	1,104	—	926	—
2020年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	71.03	68.20
2020年2月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2020年2月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年2月期第3四半期の経営成績 (累計) 及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	3,124	2,398	76.8	183.95
2020年2月期	2,046	1,472	72.0	112.93

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 2,398百万円 2020年2月期 1,472百万円

(注) 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,770	30.7	1,375	171.2	1,375	171.3	1,085	295.4	83.27

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
 3. 業績予想の修正については、本日（2021年1月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- （3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	13,457,200株	2020年2月期	13,457,200株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	416,882株	2020年2月期	416,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	13,040,376株	2020年2月期3Q	13,300,218株

- （注）当社は、2020年8月5日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会について）

オンラインとオフラインを併用して開催する予定でしたが、2021年1月7日に再発令された緊急事態宣言を受けて、オンラインのみの開催に変更しております。

1. 配信日時 2021年1月12日（火）午後3時30分開始
 2. ライブ配信URL https://youtu.be/p_8uxqKI-Nk

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第 3 四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)の当社におきましては、引き続きプレスリリース配信サービス「PR TIMES」の基盤強化を進めながら、企業発表情報のプラットフォームとして、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態の中でも、生活者に正しく有益な情報を届けるため、最善を尽くしてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大初期は、「PR TIMES」のプレスリリースの利用機会が減少し、プレスリリース件数の成長率は鈍化しておりましたが、2020年5月25日に緊急事態宣言が解除されたことで、コロナ禍以前の成長率を取り戻し、10月には過去最高の月間21,746件を記録しております。利用企業社数は11月に47,324社(前年同期比12,656社増加)に達し、国内上場企業のうち43.1%の企業にご利用いただいております。メディアユーザー数も19,574名となり、引き続き成長基調を維持しております。プレスリリースの配信と受信双方の増加に伴いネットワーク効果が大きく働き、「PR TIMES」は従来の報道向け素材資料であるプレスリリースの情報流通サービスから、P R (パブリック・リレーションズ)プラットフォームへと変容を遂げております。

また、新規事業として取り組んでおります広報・P R効果測定サービス「Webクリッピング」のユーザー数は11,410名、タスク管理ツール「Jooto」のユーザー数は248,547名、カスタマーサポートサービス「Tayori」のアカウント数は39,607名となりました。いずれのサービスもユーザー数もしくはアカウント数は伸びているものの、有料課金率は極めて低く、投資フェーズが続いております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,769,186千円、営業利益は1,103,855千円、経常利益は1,104,086千円、四半期純利益は926,278千円となりました。当社は、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

なお、当社はプレスリリース配信事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,077,446千円増加し、3,124,061千円となりました。

流動資産におきましては、当第3四半期会計期間末残高は、2,709,347千円と前事業年度末に比べ1,036,112千円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加1,048,534千円が主な要因となります。

固定資産におきましては、当第3四半期会計期間末残高は、414,714千円と前事業年度末に比べ41,334千円の増加となりました。これは、投資その他の資産の増加43,398千円が主な要因となります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ151,440千円増加し、725,179千円となりました。

流動負債におきましては、当第3四半期会計期間末残高は、718,952千円と前事業年度末に比べ150,926千円の増加となりました。これは、未払法人税等の増加156,341千円、賞与引当金の減少25,664千円が主な要因となります。

固定負債におきましては、当第3四半期会計期間末残高は、6,227千円と前事業年度末に比べ514千円の増加となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ926,005千円増加し、2,398,881千円となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加926,278千円が主な要因となります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う2020年4月の緊急事態宣言発令の影響でプレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用機会が一時的に減少したものの、「マスク」「消毒液」といった新型コロナウイルス関連やテレワーク関連等のプレスリリースの発信が多くあったこと等を踏まえ、通期の売上高予想を見直したこと等により、通期の業績予想を修正いたします。

詳細については、本日(2021年1月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,132,433	2,180,968
受取手形及び売掛金	543,739	527,143
その他	59,459	48,752
貸倒引当金	△62,397	△47,517
流動資産合計	1,673,234	2,709,347
固定資産		
有形固定資産	80,737	91,046
無形固定資産	136,618	124,245
投資その他の資産	156,023	199,422
固定資産合計	373,380	414,714
資産合計	2,046,614	3,124,061
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,605	47,804
未払法人税等	113,190	269,531
前受収益	134,446	167,714
賞与引当金	37,420	11,755
その他	246,363	222,145
流動負債合計	568,025	718,952
固定負債		
その他	5,713	6,227
固定負債合計	5,713	6,227
負債合計	573,738	725,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	420,660	420,660
資本剰余金	395,660	395,660
利益剰余金	1,168,106	2,094,385
自己株式	△511,731	△512,004
株主資本合計	1,472,695	2,398,701
新株予約権	180	180
純資産合計	1,472,875	2,398,881
負債純資産合計	2,046,614	3,124,061

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期累計期間 (自 2020年 3 月 1 日 至 2020年 11 月 30 日)
売上高	2,769,186
売上原価	404,180
売上総利益	2,365,006
販売費及び一般管理費	1,261,150
営業利益	1,103,855
営業外収益	
受取利息	1
償却債権取立益	655
その他	235
営業外収益合計	891
営業外費用	
支払利息	657
その他	4
営業外費用合計	661
経常利益	1,104,086
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	192,102
特別利益合計	192,102
特別損失	
固定資産除却損	0
減損損失	33,316
特別損失合計	33,316
税引前四半期純利益	1,262,872
法人税等	336,593
四半期純利益	926,278

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は、プレスリリース配信事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。